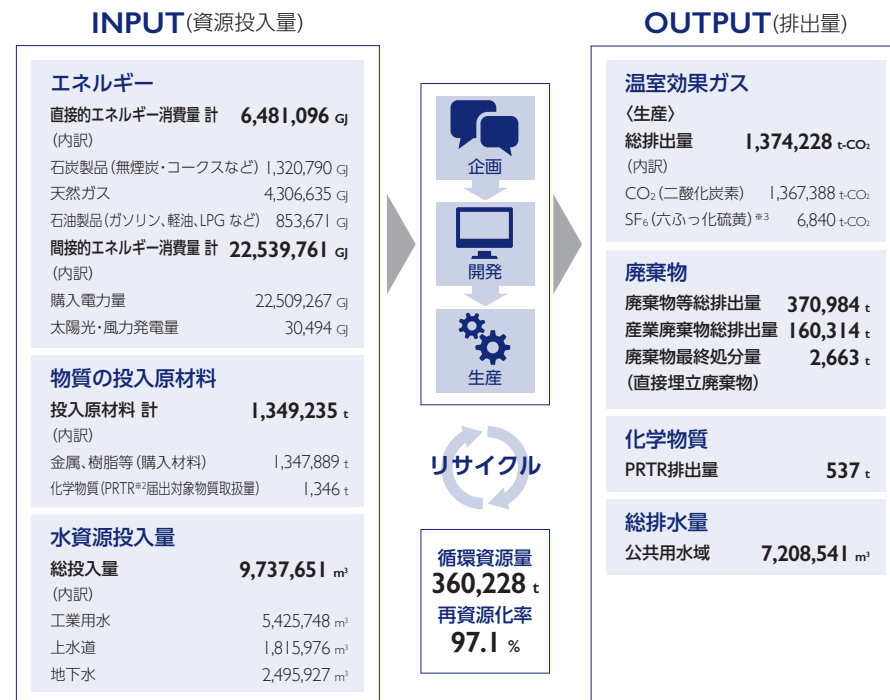


環境関連データ

環境マネジメント GRI 201-1, 2, 302-1, 306-1資源投入量と排出量(2021年度) 国内グループ50社^{*1}

^{*1} 国内グループ会社50社: アイシン、アイシン高丘、アイシン化工、アイシン軽金属、アイシン機工、アイシン辰栄、アイシン福井、豊生ブレーキ工業、アドヴィックス、シロキ工業、アート金属工業、アイシン開発、アイシン東北、アイシン九州、アイシン九州キャスティング、アイシン北海道、愛知技研、埼玉工業、寿技研工業、山形クラッチ、新三商事、光南工業、碧南運送、サンエツ運輸、テクノバ、アイシン・コラボ、アイシン・インフォテックス、アイシン・ソフトウェア、エフティテクノ、イムラ・ジャパン、シーヴィテック、シーヴィテック北海道、シーヴィテック九州、アイシン瑞浪、アイシン・メタルテック、アイシン・デジタルエンジニアリング、アイシン・ロジテックサービス、アイシン・マシンテック、オーキス・ジャパン、アイシン新和、新和工業、エイティール九州、アイシン高丘東北、平林工業、アイシン高丘エンジニアリング、イナテツ技研、シンコー精機、テクノメタル、となみの工業、ASブレーキシステムズ

^{*2} PRTR(Pollutant Release and Transfer Register): 有害性のあるさまざまな化学物質について、事業所からの環境(大気・水・土壌)への排出量および廃棄物に含まれた事業所外への移動量を、事業者が自ら把握し、国に対して届出するとともに、国は届出データなどに基づいて排出量・移動量を推計し公表する制度。

^{*3} SF₆(Sulfur hexafluoride): 六ふっ化硫黄。温暖化効果がCO₂の22,800倍とされる温室効果ガス。

環境会計

(単位: 億円)

年度	国内の生産グループ11社 ^{*1}			国内グループ会社 ^{*2}			
	2019	2020	2021	2019	2020	2021	
環境保全 コスト	事業エリア内コスト	101.7	89.5	102.6	113.0	103.4	118.1
	管理活動コスト	11.8	8.7	11.3	13.9	11.4	13.6
	上下流コスト	41.7	25.5	29.4	41.9	25.8	31.1
	研究開発コスト	179.8	121.8	96.4	181.3	122.7	97.0
	社会活動コスト	1.9	0.6	0.4	2.0	1.0	0.5
	環境損傷対応コスト	0.3	0.2	0.7	0.3	0.2	0.7
	合計	337.2	246.3	240.8	352.4	264.5	261.0
環境保全 効果	省エネルギーによる効果	16.5	13.9	5.9	16.7	15.0	7.8
	資材低減による効果	4.6	2.8	7.0	4.6	2.8	7.1
	廃棄物低減による効果	0.4	0.6	0.4	0.7	2.6	1.8
	有価物売却金	66.4	59.5	127.8	67.4	63.1	133.8
	合計	87.9	76.8	141.1	89.4	83.5	150.5

注) 環境省発行「環境会計ガイドライン2005年度版」に準拠。

^{*1} 国内の生産グループ11社: グループのうち、非生産会社のアイシン開発を除く11社。

^{*2} 2019年度は31社、2020年度は42社、2021年度は50社。2021年度の50社は上記投入原材料の範囲と同じ範囲。